

平成29年度 事務事業評価シート(実施計画事業 **経常事業**)

事業の概要	事務事業名	広報等作成事業				担当部	市長公室				
	会計区分	一般会計				担当課	広報広聴課				
	事業期間	平成26年度以前		～	平成30年度まで		担当係	広報係			
	基本施策・展開方向	7 行政経営		31 行政運営		1 情報の共有化を推進します					
	予算区分	款	2	項	1	目	2	大	4	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市広報発行規則									
	何・誰を対象に	市民									
	目的 どの様な状態にするのか	<ul style="list-style-type: none"> ・広報こまき、市政カレンダー、転入者向けの市政案内としてくらしのガイド(隔年)、市の魅力や施策を紹介する市勢要覧(隔年)などを作成し、市政情報の提供を行う。 ・市政、各種事業、サービスなどの情報を的確に提供するため、毎月2回(1日号と15日号)広報こまきを発行する。 ・市民活動団体に広報こまきの一部(くらしの掲示板、市民の情報交換のコーナー)の作成を委託し、市民との協働による広報紙づくりを進める。 ・市民活動団体との協働で「市民レポーター」の取材による広報紙面への掲載を行い、より市民に身近な広報紙となるよう努める。また、「市民レポーター制度」の夏休み特別企画として、子どもたちが「こどもレポーター」として市内各所を取材し、広報こまきに掲載する。 ・刊行物の発行にあたり、取材・編集・校正・チェック及び関係課との調整を行う。 									
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<ul style="list-style-type: none"> ■平成28年度実施内容 ・広報こまきを毎月2回発行した。(印刷費:75,464千円 平均発行部数:57,395部) ・市政カレンダーを発行した。(印刷費:4,147千円 57,000部) ・市の魅力や施策を紹介する市勢要覧を発行した。(印刷費:1,710千円 1,200部) ・市民活動団体に広報こまきの一部(くらしの掲示板、市民の情報交換のコーナー)の作成を委託し、市民との協働による広報紙づくりを進めた。(委託料:2,882千円) ・定住促進プロモーションパンフレットを発行した。(印刷費:820千円 20,000部)また、移住交流フェアに参加し、市の魅力をPRした。 ・市民活動団体との協働で「市民レポーター」の取材による広報紙面への掲載を行い、より市民に身近な広報紙となるよう努めた。また、「市民レポーター制度」の夏休み特別企画として、子どもたちが「こどもレポーター」として市内各所(FDA、愛知ヨーク、市温水プール)を取材し、広報こまきに掲載した。(委託料:2,998千円) ■平成29年度実施内容 ・広報こまき、市政カレンダー、転入者向けの市政案内としてくらしのガイドを作成し、市政情報の提供を行う。 ・市政、各種事業、サービスなどの情報をいち早く的確に提供するため、毎月2回(1日号と15日号)広報こまきを発行する。 ・市民活動団体に広報こまきの一部(くらしの掲示板、市民の情報交換のコーナー)の作成を委託し、市民との協働による広報紙づくりを進める。 ・市民活動団体との協働で「市民レポーター」の取材による広報紙面への掲載を行い、より市民に身近な広報紙となるよう努める。また、「市民レポーター制度」の夏休み特別企画として、子どもたちが「こどもレポーター」として市内各所(エースペカリー、福玉倉庫、市歴史館)を取材し、広報こまきに掲載する。 ・刊行物の発行にあたり、取材・編集・校正・チェック及び関係課との調整を行う。 ・移住交流フェアに参加し、市の魅力をPRする。 									
	受益者負担	無									

		単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29予算額	
			直接経費	千円	88,506	95,444	87,259
費用	正職員	従事者数	人	2.15	2.60	2.70	2.50
		人件費	千円	12,100	14,632	15,195	14,070
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00		
		人件費	千円	0	0		
	費用合計	千円	100,606	110,076	102,454	109,933	
	対前年比	%		109.4	93.0	107.2	
財源	一般財源	千円	100,606	110,076	102,454	109,933	
	国・県支出金	千円					
	その他財源	千円					

業	活動指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	績	広報こまき	千部	目標	—	—	—
実績				1,364	1,369	1,377	
業	暮らしのカレンダー	部	目標	—	—	—	—
			実績	57,000	57,000	57,000	
績	くらしのガイド	部	目標	—	—	—	—
			実績	5,000	10,000	—	
業	成果指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	広報こまき	千部	目標	—	—	—	—
実績			1,364	1,369	1,377		
業			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成28年度の実施結果	事業の達成状況	<p>広報こまきについて、9/15号から新たに「介護予防のコーナー」を設け、介護予防の取り組みの啓発を行うとともに、家族で予防体操などに取り組んでもらうことで、家族内の交流や話題づくりにもなるように努めた。また、より見やすく情報が探しやすいように、10/15号から「くらしの掲示板」のリニューアルを行った。</p> <p>新たな取組みとして「こどもレポーター制度」を実施し、こども達やその保護者(子育て世代)が広報を読むきっかけとし、読者層の拡大に努めた。</p>					
	事業実施における課題		<p>広報を読むことが比較的少ない若年層に向けて、SNS(facebook、LINE等)等を利用し周知を図り、今まで紙媒体の広報紙を読まなかった方に、WEBで読んでもらえるよう働きかけていくことが重要。</p>					
	平成29年度の実施内容	29年度における実施内容や結果見込み	<p>広報こまきの掲載記事の精査・充実を図るのはもちろんのこと、若年層に向けての、SNS(facebook、LINE等)等を利用した周知を積極的に行い、読者層の拡大に努め、より多くの市民に情報を発信していく。</p>					
	平成30年度の事業の方向性	方向性の判定	縮小	<p>対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの</p>				
平成30年度の事業の方向性	削減額・削減対象	事務事業評価による額	108	千円	予算区分	11	節	節
	判定理由・削減内容	<p>事業の内容を精査した結果、移住交流フェア参加負担金を削減の対象とする。</p>						
平成30年度以降の実施内容	<p>今後も市民にとって親しみやすい広報づくりに努めていく。掲載内容についてはマンネリ化しないように、必要に応じ各コーナーの充実等を図っていく。</p> <p>また、読者層の拡大をねらい、今後も若年層に向けてSNS(facebook、LINE等)等を利用し周知を図っていく。</p>							

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	<p>一次評価のとおり。</p> <p>平成30年度以降の事業費(一般財源)は、原則的に、平成29年度当初予算の金額から本年度の事務事業評価による額を控除した金額を上限とするとともに、引き続き、効果的・効率的な事業実施に努められたい。</p>